

能登町地域公共交通協議会

平成20年3月24日設置
平成21年3月25日連携計画策定



概要

平成17年3月に3つの町村が合併して誕生した能登町は人口減少・高齢化が進行しており、民間交通事業者によるサービスが提供されにくく、公共交通空白地域や不便地域を多く抱えている。このため、地域バランスを考慮した住民生活の足である公共交通整備が強く求められている。

平成22年度は、能登町の中心市街地である宇出津地区と各地を結ぶ乗合タクシーの運行実験や、公共交通利用促進策などを進める。

1. 公立宇出津病院起点のデマンドタクシー運行実験(実証実験)

・H21年度の一部試行運行の成果を受け、運行範囲を拡大し、病院や商業施設などが集積する宇出津地区と、能登町全土を結ぶ予約制乗合タクシーを運行する。

2. 町営「駒渡線」と柳田スクール混乗バス「合鹿久田線」の路線統合による利用者の利便性向上実験(うちうら柳田線実証実験)

・交通空白地域へ路線延長するとともに、松波地区(旧内浦町市街地)と柳田地区(旧柳田村市街地)を結ぶ路線バスを運行する。

3. 特定温浴施設への送迎バスの運行実験(実証運行)

・町内に散在する温浴施設への送迎バスを運行する。

4. バス応援券発行の導入可能性調査(調査・検討)

・住民との意見交換会を継続実施し、バスの運行を支える仕組みを検討する。

5. バス利用促進キャンペーン(調査・検討)

・町民のバス利用を促す啓発活動を実施する

6. 買い物客へのバス割引制度の導入を検討(調査・検討)

・バス利用促進を図るため、買い物客への割引実施を検討。

デマンド乗合タクシーの運行



うちうら柳田線の運行



バス応援券の協議



温浴施設送迎バスの運行

7. バス情報の見直し(調査・検討)

・バス案内情報の充実による利便性向上を図る。